

6. 活動過程（事前）（博物館での観察のための事前）

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料
導入	1. 博物館資料の一覧を見て、本時のめあてをつかむ。	45分	○事前に資料一覧を提示して、博物館資料への興味・関心を広げる手助けをする。	博物館資料の一覧参照
展開	2. 博物館訪問の計画を立案する。 (1)見学資料の閲覧 ・郷土の偉人 ・自然（化石等） ・民芸、工芸 ・文化 ・伝統 ・歴史 ・古地理 ・食文化 ・交通 ・宗教（神社仏閣） ・産業 ・野馬追関係	30分	○課題解決のために必要な資料の有無を調べさせる。 ○見通しをもって学習が進められるように必要な話し合いの内容をガイダンスする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラマチクジラ化石等</li> <li>・アンモナイト</li> </ul>
	(2)質問事項の検討		◎進んで作業に取り組み、わからないところは先生や友人に聞くことができたか。	
終末	3. 訪問に備えて基本的な事項の確認をする。 (1)日時の決定 (2)見学場所の確認 (3)役割分担の検討 (4)移動方法の確認と注意点の確認 (5)アポイントメントの仕方	10分	○事前に調べる視点を明確にさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土鈴と鋳型</li> <li>・寺跡の瓦</li> <li>・桜井古墳</li> <li>・石庖丁</li> <li>・滝ノ原遺跡の縄文土器</li> <li>・前田遺跡の土偶</li> <li>・犬這遺跡の耳飾り</li> <li>・製鉄炉</li> <li>・馬具</li> <li>・領地目録</li> <li>・供養塔</li> <li>・天明岡田文書</li> <li>・無線塔</li> <li>・葉莢</li> <li>・望遠鏡等</li> </ul>
	4. 話し合いをもとに郷土に関する各テーマの調べ方についてまとめ、学習の反省をする。		5分	
			○総合の時間だけでなく、自由な時間帯での訪問も考えさせる。 ○危険個所や交通事故等の注意事項に気づけるようにする。 ○訪問の意図説明、挨拶、質問者、記録者等の役割を確認させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道標</li> <li>・馬頭観音像等</li> </ul>
			◎安全に気をつけて、計画を立てることができたか。 ◎班員の様子を見て、教え合ったり、協力して役割分担をすることができたか。 ◎手順を確かめながら、話し合いをすることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【歴史】</li> <li>・製鉄炉</li> <li>・馬具</li> <li>・領地目録</li> <li>・供養塔</li> <li>・天明岡田文書</li> <li>・無線塔</li> <li>・葉莢</li> <li>・望遠鏡等</li> <li>【民俗】</li> <li>・道標</li> <li>・馬頭観音像等</li> <li>【野馬追】</li> <li>・野馬追図の屏風</li> <li>・奥州相馬妙見祭其一</li> <li>・行列之図</li> <li>・旗帳等</li> </ul>